

学校だより

Iheya Times

皐月（さつき）

令和7年5月20日 伊平屋小学校

2024 May twenty(20th) Tuesday (火)

文責：校長 松田 和美

Number 3

Can Do タイム

伊平屋小学校では、朝の活動の時間に高学年が低学年の学習のサポートをする時間を設けています。このCan Do タイムは、「知・徳・体」のバランスのとれた児童育成のための日常的な取組の1つでもあります。

4年生が1年生に、5年生が2年生に、6年生が3年生に国語と算数の勉強をおしえます。しっかり教えるために高学年は予習を頑張ります。この取組は、基礎学力の定着につながると共に、本校の子ども達が「教え」「教わる」の人間関係を通し、人と人との繋がりを学ぶ一環にもなっています。

「分かる嬉しさ」「学ぶ楽しさ」を実感できるCan Do タイムのことを子ども達にインタビューしてみてください。



5月に入り、我喜屋の浜におりたとき、県外から帰省し伊平屋島に遊びに来ていた娘が「カツオノカムリだ」と指した先には、浜にうちあげられ、少し黒みがかかった物体。東村に打ち上げられたことが新聞に掲載されていたのを思い出しました。確かに上の部分には透明の皿のような物がついていました。この透明の皿状の物をヨットの帆のように立て、風に乗って移動するのだそうだ。クラゲの一種で、カツオの群れと一緒に見つかるので、この名がついたと言われている。毒性があり、何度も刺されると、アナフィラキシーショックを起こす危険性がある。海岸に打ち上げられて、干からびていても毒が残っているため専門家は、見つけても絶対に触れないようにと注意を呼びかけています。もし知らずに触れてしまった場合は、海水で洗い流すようにして触手を取り除くようにして下さい。これから、海に行く機会が増えてくると思いますが、ご注意ください。

話題



帆を持ち風に乗って移動 カツオノカムリ